

2016年1月5日

報道関係各位

2016年 年頭社長挨拶(要約)

株式会社 ツムラ

株式会社 ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：犬飼 律子

TEL：03-6361-7100

“KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指して

新年、あけましておめでとうございます。

今年の干支である『丙申（ひのえ・さる）』は、丙（ひのえ）は春や夏といった陽気を意味し、申（さる）は真っ直ぐ伸びるという意味であります。草木の芽が太陽の恵みをいただき、真っ直ぐ伸びるよう、引き伸ばしていくという年は、第1期中期経営計画の最終年度、また、新たに第2期中期経営計画がスタートする当社にとって、大変重要な局面を迎える年といえます。

当社の事業を樹木に例えると、「漢方・生薬事業」という枝葉に、医療用漢方製剤や一般用漢方製剤という花や果実が実っている状態が描けます。大地をさらに肥やし、根を太くし、深く・広く張り巡らせて養分を十分吸い上げ、幹を太くすることが、枝葉が茂り、花や果実がたわわに実ることへとつながります。

現在置かれている厳しい経営環境の中では、物事を良い方向に導くためには「いいイメージを描く」ことが大切です。企業、組織、個人などの主体が、自ら設定した目標に向かって進むとき、そこには外的な変化や不慮の事態が発生し、それによって大きなダメージを受けることがあります。しかし、変化に対応し、ダメージを抑え、創造的に飛躍することで、最後は成長につなげることができます。これは、復元力・回復力（レジデンス）のイメージです。

まずは、何が問題であり、課題であるかを見極め、その克服に向け、今まで以上のスピードで実行することです。それには経験だけに頼ってはいけません。一人ひとりの意識改革を持って行動することで、組織も人も、確実に復元していく力を身に付ければ、必ず逞しく成長できます。

ツムラが持続的に成長・発展していくためには、日本の伝統医療をしっかりと堅持しながら、同時に、理念に照らし合わせてさまざまな課題にチャレンジし、未来のツムラを担う若手社員が漢方・生薬事業に一層活躍できるよう、その基盤を作りあげていくことも重要です。

私たちは、漢方製剤という素晴らしい医薬品（良薬）と、この多成分系複合製剤に関する技術・研究・ノウハウで人々の健康に寄与するという価値を創造する企業を目指しています。私たちが、目指している方向は正しく、着実に前進していることを確信していますが、まだまだ多くの患者様や医師の方々が“漢方”を必要とされています。日本国内において、患者様が、どの医療機関・診療科においても、必要に応じて“漢方”を取り入れた治療を受けられる医療現場の実現に貢献するため、今の逆境を吸収し、逞しく成長していきましょう。

以 上